

秋田歴研協会誌

第87号

秋田県歴史研究者・研究団体協議会

2026.3



流れ山の景観（秋田県にかほ市） 高森展望台からの眺望。紀元前466年に発生した鳥海山の山体崩壊により、象潟岩屑なだれ堆積地が形成された。この堆積地は、にかほ市平野部の大半を占め、平沢一象潟間の沿岸まで続く。この土砂の堆積過程で無数の流れ山が誕生し、同市の重要な景観要素となっている。九十九島は、流れ山が水田に浮かぶ景勝地として広く知られている。また、市街地にも多くの流れ山が残され、全国的にもユニークな都市景観をつくり出している。（撮影：石渡雄士）

特集 秋田歴研協 秋の発表会

| | | |
|--------|---------------------------------|-----------|
| | 秋田県にかほ市における大地の歴史と空間構造 | 石渡 雄士 (2) |
| 歴史情報 | 《寄贈図書紹介》加藤正樹著『雪窓という画家がいた』 | 渡辺 修 (10) |
| 文献情報 | | (13) |
| 催しもの情報 | | (16) |
| 事務局だより | | (17) |

秋 田 歴 研 協 会 誌

第 87 号

発 行 2026年 3月30日

発 行 者 秋田県歴史研究者・研究団体協議会 会長 半田和彦

会誌編集者 塩田康之

事 務 局

E-mail fw190d9@cna.ne.jp

振替番号 秋田02510-2-4343 加入者名：秋田歴研協

印 刷 編集工房 厨(くりや)